

2019トライアスロン伊良湖大会競技規則

<総則>

- 1 本大会は公益社団法人日本トライアスロン連合競技規則（JTUルール）と、開催趣旨に基づく伊良湖大会ルールにより実施する。安全で初心者に優しい運営を心がけ、定めなき事案は実行委員会が決定する。
- 2 気象条件・環境により安全確保が難しい場合、競技開始前、競技中にかかわらず競技を変更、中止する。

<共通規則>

- 1 競技者及び随行者は、良識ある社会人として節度をもって参加する。交通規則を順守し自転車乗車時(競技期間中は受付会場に向かう時から競技終了後会場から退出するまで)は常にヘルメットを着用する。会場周辺等で違法キャンプを行わない。騒音を出さない。地域の生活との調和を図る。
- 2 催事は時間を順守し、遅れる場合は必ず事前に連絡する。
(連絡先：大会運営事務局 ☎0531-36-6882)
- 3 競技者は競技規則・スケジュール・コースを把握して参加する。コースミスや、事故の責任は、選手個人が負うものとする。
- 4 フロント(前面)ファスナー付のレースウエアでの出場は可能だが、ファスナーは首元まで上げること。ただし、フロントファスナーは競技中、胸骨の位置まで下げることができないが、フィニッシュ手前200mからファスナーをしっかりと閉めること。A・B両タイプ共通の規則とする。
- 5 レースナンバーは必ず競技により前、又は後ろに見えるように取り付ける。折り曲げや変造、改造は禁止する。
- 6 私設エイド(個人的な援助)は禁止です。エイドはコース上に10カ所とフィニッシュエイドの1カ所、大会側で準備する。
- 7 大会期間中ゴミの放棄・投棄をしない。ゴミは各自持ち帰ること。故意にゴミの放棄・投棄をした場合は、次年度の参加選考から除外する。
- 8 各競技に制限時間を設ける。詳細については各競技項目を参照。フィニッシュは14時35分までとする。また制限時間前であっても継続が困難、運営に支障があると大会役員及び審判員が判断した競技者は棄権扱いとなる。途中棄権者は審判員に申告、アンクルバンドを返却する。
- 9 競技コース上に落書き等(応援メッセージを含む)をすることは禁止する。
(応援者にも周知すること)
- 10 参加者が、競技規則に違反した場合はペナルティの対象とする。

<選手受付・車検・競技説明会>

- 1 競技に用いるバイクはロードレーサーとシドロップハンドルを基本とする。エアロバー、ブルホーンハンドルは使用できるが、フラットバーハンドルの使用は不可。その他の使用は審判長の承認を要する。
- 2 参加者は、自身で車検・受付を受けなければならない。いかなる場合も代理でのチェックは受け付けないものとする。
- 3 検車にはレースで使用する状態でタイヤに空気を入れ、ネジのゆるみ、ハンドルのエンドキャップ無しなど無いよう、事前に各自が確認して自転車及びヘルメットを持ち込みチェックを受けること。ヘルメットは割れなどがある場合は使用不可。また、ストラップは適正な位置に調整し、顎を上げた状態でストラップが外れないようにする。
- 4 競技に不必要な装備（スタンド、泥除け、バックミラー等）、競技中に落下の危険性があるものについては事前に外して車検を受けるものとする。
- 5 競技説明会は参加すること。不参加による不利益は競技者が負うものとする。
- 6 事前連絡無く、車検・受付をしなかった場合は、出場出来ない場合がある。

<スイム競技>

- 1 競技に不安のある者のバイク競技からのスタート（スイムスキップ）を認める。ただし、記録は参考扱いとなる。
- 2 スタートエリアには必ず計測マットの上を通り入場する。また、周回時にも必ず計測マットの上を通過すること。
- 3 ウェットスーツ（ラッシュガードは不可）と大会支給のスイムキャップは必ず着用しなければならない。
- 4 スタートは各タイプ250人ずつのウェーブスタートとする。
- 5 コースロープ、ブイにつかまって休息できるので、無理をせず競技すること。
- 6 救助を必要とする場合は、近くの監視船や監視員に明確な意思表示をする。
- 7 制限時間はウェーブスタート後、Aタイプは1時間40分、ただし、3周目に入る関門タイムを制限時間内の30分前とする。Bタイプは1時間とする。

<トランジションエリア>

- 1 選手、スタッフ以外はトランジションエリアへ立ち入りできない。トランジションへ持ち込めるのは、競技備品のみとする。（トランジション入退時にはヘルメット・バイクシューズは除外とするが、ウェットスーツを含め荷物は受付時に渡した指定のトランジションバックに入れた状態で持ち込むこと。トランジションバック1個以外の荷物は持ち込み不可）

- 2 トランジションへの搬入は、大会当日の6時00分からとする。大会前日からの搬入、バイクの預かりはできない。また、バイクの引き取りは13時から15時までとし、盗難防止のため、IDカード又はレースナンバー（ボディナンバーは不可）にて本人確認を行う。バイクは解体せず、バイクシールも付けたまま搬出チェックを受けること。
- 3 乗車時はバイクラックからバイクを下す前にヘルメットをかぶりストラップを締め、降車時はバイクラックにバイクを掛けてからストラップを外し、ヘルメットを脱ぐこと。バイクに触れている時はヘルメットを脱ぐ(ストラップを外す)ことを禁止する。
- 4 トランジションエリア内は乗車禁止とする。バイクの乗車は、選手の片足が乗車ラインを越えた後に、完全に片足が地面についてから乗車しなければならない。乗車ラインを通過してからもバイクを押して走ることができ、乗車ラインを越えた直後に乗車しなくてもよい。バイクの降車は、降車ラインの手前の地面に片足が完全についてから降車しなければならない。

<バイク競技>

- 1 バイクコースは完全交通規制だが、競技者には常に危険回避の義務がある。前方に注意し、左側通行を厳守し、反対車線には絶対はみ出さない。緊急車両走行時は減速し左側を徐行、または停止する。緊急車両への追い越しを禁止する。
- 2 ドラフトゾーンはバイクの前輪の先端から測定して縦10mとし、ドラフティング、ブロッキングを禁止する。追い越しは後方を確認後、声を掛けて右側から20秒以内に追い越す。見通しの悪い場所、折り返し付近、乗車ラインから県道に出た歩道橋までは追い越しを禁止とし、追い越しのリスクは常に追い越す側の責務とする。
- 3 ドラフティング違反者は、ランコースにおいてペナルティの対象となる場合がある。
- 4 エイドは休暇村伊良湖の1カ所。ピットイン方式を用いているので、出入り口については減速走行すること。利用の際は必ずバイクを止め、両足をつけること。バイクメカニックもエイドに常駐している。
- 5 制限時間はウェーブスタート後、Aタイプは5時間、Bタイプは3時間とする。ただし、最終周回に入る関門タイムを制限時間の30分前とする。

<ラン競技>

- 1 ランコースは渥美サイクリングロードを走る折り返しのコースとなっている。スタートからBタイプの折り返し地点までは起伏のあるコースとなっているので、ペース配分に十分配慮すること。（高低差＝最高55m）
- 2 同伴フィニッシュは、安全と他の競技者への配慮を前提に許可する。
- 3 フィニッシュの際は、レースナンバーを整え、サングラスを外し、笑顔を推奨する。
- 4 全競技は14時35分に終了。その時点で、フィニッシュに達していない選手はタイムアウトとなる。

<ペナルティ>

- 1 ペナルティボックスをランコースに設置する。違反を犯した選手のレースナンバーをペナルティボードに掲示するので、必ずペナルティボックスでタイムペナルティを受けること。
- 2 ペナルティボックスに入らなかった場合は失格となる。

違反種類	Aタイプ	Bタイプ
ドラフティング	5分	2分
その他違反	30秒	15秒

トライアスロン伊良湖大会は、33回目を迎える歴史ある大会です。
私たちはこの大会をどこよりも参加して良かったと思える大会にしたいと考えます。
選手の皆さんもルールやマナーを守っていただき、素晴らしい大会にして下さい。